

2018年度 発注者と連携した現場見学会

| 支部  | 現場名                              | 発注者/受注者                           | 実施日    | 見学者  |
|-----|----------------------------------|-----------------------------------|--------|--|
| 北海道 | 新桂沢ダム堤体建設第1期工事                   | 北海道開発局札幌開発建設部/鹿島・岩田地崎・伊藤JV        | 8月7日   | 参加者: けんせつ小町<br>参加人数: 41名                   |
| 北海道 | 沙流川総合開発事業の内平取ダム堤体建設第1期工事         | 北海道開発局室蘭開発建設部/西松・岩田地崎・岩倉JV        | 8月10日  | 参加者: 北海学園大学<br>参加人数: 46名                   |
| 北海道 | 北海道新幹線 渡島トンネル(天狗)工事              | (独)鉄道建設運輸施設整備支援機構/鉄建・アイサワ・西江・北土JV | 10月18日 | 参加者: 函館工業高等専門学校<br>参加人数: 50名               |
| 東北  | 閉伊川水門工事                          | 岩手県/鹿島建設                          | 7月30日  | 参加者: 小・中学生、父兄<br>参加人数: 73名                 |
| 関東  | ちば野菊の里浄水場(第2期)高度浄水処理施設築造工事       | 千葉県水道局/飛鳥・岩田地崎/ケイハイ特定JV           | 10月23日 | 参加者: 千葉工業大学<br>参加人数: 26名                   |
| 北陸  | 朝日温道路1号トンネル工事                    | 北陸地方整備局/鹿島・福田特定JV                 | 9月18日  | 参加者: 新潟大学、長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校<br>参加人数: 62名 |
| 北陸  | 松岡ため池建設工事                        | 北陸農政局/大成建設                        |        |  |
| 北陸  | 金沢港(南地区)岸壁(改良)築造工事(その3)          | 北陸地方整備局/五洋建設                      | 9月18日  | 参加者: 金沢大学、金沢工業大学<br>参加人数: 50名              |
| 北陸  | 猪谷楡原道路 片掛橋下部その2工事                | 北陸地方整備局/清水建設                      |        |  |
| 中部  | 新名神高速道路 菰野第一高架橋(PC上部工)工事         | 中日本高速道路(株)名古屋支社/大林組               | 10月31日 | 参加者: 岐阜大学<br>参加人数: 60名                     |
| 中部  | 東海環状高富IC北地区道路建設工事                | 中部地方整備局岐阜国道事務所/奥村組                | 11月7日  | 参加者: 愛知工業大学<br>参加人数: 71名                   |
| 中部  | 木曾川鍋田上水門整備工事                     | 中部地方整備局木曾川下流河川事務所/鴻池組             | 11月9日  | 参加者: 大同大学<br>参加人数: 40名                     |
| 中部  | 東海環状広見トンネル工事/同 北方第一高架橋PC上部工事     | 中部地方整備局岐阜国道事務所/熊谷組、大日本土木          | 11月20日 | 参加者: 中部大学<br>参加人数: 60名                     |
| 中部  | 矢作川流域下水道事業 水処理施設築造工事その2          | 愛知県西三河建設事務所/飛鳥建設他JV               | 11月28日 | 参加者: 名古屋大学<br>参加人数: 40名                    |
| 関西  | 天ヶ瀬ダム再開発事業 天ヶ瀬ダム導水路トンネル工事(3工事現場) | 近畿地方整備局/鹿島建設、大成建設、大林組             | 10月10日 | 参加者: 摂南大学<br>参加人数: 25名                     |
| 関西  | 阪神高速 大和川線 シールドトンネル工事             | 阪神高速道路/鹿島・飛鳥JV                    | 10月15日 | 参加者: 立命館大学<br>参加人数: 18名                    |
| 四国  | 平成29-32年度日下川新規放水路工事              | 四国地方整備局/鹿島建設                      | 12月11日 | 参加者: 高知工科大学<br>参加人数: 未定                    |
| 九州  | 大分212号下屋形トンネル新設工事                | 九州地方整備局/大林・新政特定建設JV               | 11月12日 | 参加者: 大分工業高等専門学校<br>参加人数: 40名               |

# 「発注者と連携した現場見学会」を積極的に開催

日建連は、建設業の魅力や役割、社会資本整備の必要性を広く理解してもらうため、多くの方々に建設現場を見学していただく市民現場見学会を継続して開催している。「発注者と連携した現場見学会」は、二〇一三年度の「公共工事の諸課題に関する意見交換会」において、防災・減災対策や成長促進型公共事業の効果・必要性に関する広報の強化に官民で取り組むことになったのを踏まえ、国土交通省地方整備局、高速道路会社、地方自治体等の公共発注機関と日建連が共催して、公共土木工事の現場見学会を毎年開催しているものである。

この現場見学会では、必ず発注機関の担当者が出席し、そのプロジェクト全体の概要も説明していただくようにしている。従来の現場見学会は、工事を担当する施工会社の工区のみを見学し、施工会社の現場所長等から当該現場の概

いる。東回り約七六〇は開通済みで、それに続き西回り約七七〇の早期開通を目指し、工事が進められている。高富IC北地区道路建設工事は、国道二五六号(高富バイパス)と接続するインターチェンジを整備するもので、二〇一九年度の開通に向けて工事は最盛期を迎え、学生にとって見どころの多い現場であった。発注は国土交通省中部地方整備局、施工は(株)奥村組が担当している。現場見学会ではまず、国土交通省岐阜国道事

要や技術の説明を受けることが多かった。しかし、発注担当者からのプロジェクトの意義や必要性、ストック効果等の説明が加わることで、参加者の理解が深まり、充実した現場見学会となっている。参加者は、土木系の大学、工業高校、工業高等専門学校が中心で、就職を意識し始めた若い世代に向けた働きかけの場ともいえるだろう。

現場見学会の企画・運営は、日建連の支部(北海道、東北、関東、北陸、中部、関西、中国、四国、九州)が行っており、今年度の実施状況は、別表のとおりである。

## ダイナミックな土木工事に驚きの声

発注者と連携した現場見学会の一例として、十一月七日、国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所計画課の別府文弘専門官と同東海環状自動車道出張所の矢口謙史所長から、事業の概要や目的についての説明があり、東海環状自動車道の開通によって、所要時間の短縮、知名度の向上、農産物の出荷効率化、高度救急医療の支援等が実現することが紹介された。また、今回見学する現場は、i-Constructionを推進する工事としてICTを積極的に活用していること、週休二日モデル現場として休日の増加に取り組んでいること等も説明があった。

続いて、(株)奥村組高富北工事所の上山悟現場代理人から高富IC北地区の工事概要と現在の進捗状況の説明を受けた後、学生たちはいよいよ現場内に移動して現場見学を行った。学生たちは、大型建設機械を使った土木らしいダイナミックな工事を興味津々で眺めていた。また、UAV(ドローン)を使用した起工測量(工事開始前に現状の地形を確認するための測量)の様子を見学するとともに、ドローンの操縦体験も行った。愛知工業大学の学生は日々の講義や研究で忙しく、実際の建設現場を見る機会が少ないという。大学三年生となると将来の進路を真剣に考え始める時期であり、大きな刺激を受けたようだった。

このように発注者と連携した現場見学会は、普段見ることのできない大規模な建設現場をつぶさに見学できる絶好の機会となっている。日建連は今後も全国で現場見学会を開催していく方針だ。



上/事業概要の説明  
下/説明後、現場に移動した



ドローンの操縦体験